

灰街令 Rei Haimachi

1995 年生まれ。

聴取のなかで音が音楽として現象するとき、あるいは音楽が音へと解体されるときに顕在化する、ノイズやサイレンスの存在に関心があり、主に作曲や作品研究を通して思考=試行を実践している。

近年の活動に、ソロライブ『騒音のリリズム／静寂のプロパガンダ』の開催、室内楽作品集『Retarder』の音源リリース、カゲヤマ气象台演出／サミュエル・ベケット作『QUAD』への舞台音楽提供などがある。

国立音楽大学大学院博士後期課程を単位取得満期退学の後、現在、同大学大学院研究生として博士論文を準備中。

作曲を近藤譲と川島素晴の両氏に、現代奏法を含むピアノ演奏を井上郷子氏に、音楽学を白石美雪と友利修の両氏に、文筆を佐々木敦氏に師事。

ポートフォリオサイト: <https://reihaimachi.wordpress.com/>

